

茨城県古河市立大和田小学校 (学校長 鶴見 幸弘)

実施日	平成19年10月3日(水)	時間	午前10時50分～午後2時10分
実施場所	6年1組教室・体育館	対象/人数	1～6年生 111名
担当教諭	川上 洋子	ファシリテーター	原 富美枝
講師	中村 クラウジオ(ブラジル) 西村 ルミアナ(ブルガリア)		

活動内容

- ・6年生児童によるブラジル・ブルガリアの調べたことを発表
- ・ブラジル・ブルガリアのあいさつ、国旗の話、学校、生活、自然についての話
- ・簡単なゲーム
- ・給食交流

児童の感想

- ・最初は緊張したけれど、話をしているうちに慣れてきました。私たちがブルガリアやブラジルのことについて調べたことを発表している時によく聞いて、ほめて下さったので嬉しかったです。
- ・ブルガリア語の発音は難しかったです。ルミアナさんがていねいに教えてくれました。また、ブルガリアでは、「はい」の時、首を横にふり、「いいえ」の時に縦にふるというのには驚きました。
- ・ブラジル人のクラウジオさんからブラジルのあいさつや学校のこと、遊びのことを教えてもらいました。手で打つバドミントンのようなブラジルの遊びもいっしょにできて楽しかったです。
- ・ブラジル人のクラウジオさんとブルガリア人のルミアナさんといっしょに給食を食べました。グループの活動の時は質問ができなかったのですが、給食の時はできてよかったです。

先生の感想

- ・大和田小では、ワールドキャラバンの方をお迎えするのは初めてだったのですが、コーディネーターの方が相談にのって下さったので楽しく活動ができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。
- ・ブラジル人のルミアナさんは和服で来て下さいました。子どもたちは最初驚いていたようですが、日本にいらして、日本の文化のよさを大切にしながら、ブラジルのよさを伝えて下さっていることに、子どもなりに感心していたようでした。
- ・ブラジル人のクラウジオさんは、ブラジルの国旗の話やスポーツのこと、遊びの話を気さくにして下さいました。いっしょにブラジルの遊びをし

たことは、子どもたちのよい思い出となりました。

成果と課題

- ・ブルガリア語やポルトガル語であいさつを交わしたり、国旗や学校、生活の話を聞いたりすることにより、ブルガリアやブラジルに関心を持ち、今までより身近な国として捉えることができた。
- ・今まで、総合的な学習の中で、世界の国の生活や文化について調べ、発表会を行ってきたが、調べ学習にとどまっていた。それが、ワールドキャラバンの交流学习を行うことにより、他のヨーロッパや南アメリカの国の言葉や子どもたちの生活に関心をもつなど、新たな方向性を見出すことができた。
- ・ワールドキャラバンを迎えるまでの準備期間が短かったので、次回は準備を十分にさらさら有意義なものにしたい。

